



報告！！

## 日本心臓リハビリテーション学会 学術集会に参加してきました！！



今回、神戸国際展示場・神戸国際会議場にて2024年7月13日（土）～14日（日）の2日間に渡り開催された『第30回 日本心臓リハビリテーション学会学術集会』に当院より心臓リハビリテーション指導士を取得している私、津久井が参加してきました。

心臓リハビリテーション学会は、医師、看護師、理学療法士など複数の医療職種、約16,000名の会員で構成されており、毎年7月に開催される学術集会には、約3,000～5,000名ほどの若手～熟練者まで様々な年代・職種の方が全国から集まります。

今年の学術集会のテーマである「サイエンスしていく心臓リハビリテーション」に沿って、研究発表や症例報告、また最新の知見を踏まえた治療方法などが報告されました。

私個人としては「心不全リハの最新の知見について学ぶ」ために参加してきました。



その中で印象的だったのは「超高齢心不全患者へのチーム医療」というテーマでした。2040年まで心不全の入院患者は増加をたどり、85歳以上が約6割を占めていくことが予測されています。高齢心不全患者は医学的・身体的・精神的・社会的に複雑な問題を抱えており、包括的なマネジメントが重要となってきます。

高齢心不全患者の約8割が慢性的な栄養不足状態であり、疾病管理において重要なセルフケアに対する支援が不十分、さまざまな併存疾患による多剤併用問題と課題が見られています。

しかし、超高齢心疾患患者を対象とした心臓リハビリテーションの効果を検証する研究はまだ少なく、科学的根拠が乏しいのが現状です。

今回、学術集会に参加して多くの刺激や学びを得ることが出来ました。また、今後、当院の心臓リハビリテーションを発展させていくには何が必要かを考える良い機会となりました。

得られたことを少しでも患者さんの治療に活かせるよう、リハビリテーション科内だけでなく院内の他職種に向けても発信していこうと思います。それにより、当院全体でより良い心臓リハビリテーションが提供できるよう努めていきます。

## ■ 医療法人 関越中央病院

入院だけでなく外来リハにも対応しております。  
主治医にご相談ください。

### ▶ 施設基準

心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ  
脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ  
廃用症候群リハビリテーション料Ⅰ  
運動器リハビリテーション料Ⅰ  
呼吸器リハビリテーション料Ⅰ  
がん患者リハビリテーション料  
摂食機能療法



心臓リハ部門 主任  
津久井亮

病院リハ部門 主任  
丸山あすみ 松下知史

## ■ 通所リハビリテーション関越中央

1~2時間の短時間通所リハ、6~7時間の長時間  
通所リハを行っております。  
相談員業務をリハ職が行うことにより、利用者様  
に合わせた最適なプランを提案させていただきます。

## ■ 訪問リハビリテーション関越中央

病院で急性期リハを学んだ職員が対応することで、  
心臓・呼吸に問題のある利用者様も安心してご利用  
頂けます。



介護リハ部門 主任  
狩野和子 田口裕一

空き状況	月	火	水	木	金
短時間型通所リハ 1クール 9:00~10:15	△	△	△	○	△
短時間型通所リハ 2クール 10:30~11:45	△	△	○	△	△
長時間型通所リハ 9:00~15:15	△	△	△	△	△
訪問リハビリ 13:00~17:00	△	△	△	△	△

○：受け入れ可能 △：要相談 × 受入困難

〒370-3513 群馬県高崎市北原町71

TEL：027-373-5115 (代) FAX：027-372-2829

アドレス：reha@kan-etsu-hospital.com

### ひとことコラム 第 61 回

## 6月の診療報酬改定により「肺高血圧症」が心大血管リハ ハビリテーションの適応疾患になりました

肺高血圧症とは、心臓から肺に血液を送る動脈（肺動脈）の血圧が、  
正常よりも大幅に高くなった状態です。多くの場合、緩やかに発症し、  
生活の質（以下、QOL）を低下させ、時に早世に至ることもあります。肺  
循環障害により右心不全をきたし、さらに心臓から拍出される血液量が  
低下することにより全身状態が悪化する**予後不良の疾患**です。

適切な運動療法を実施することで、右心室機能や肺循環動態が改善さ  
れ、運動耐容能の向上、QOLの向上が期待されています。肺高血圧症では  
右心不全と呼吸不全の病態を有しているため、循環と呼吸の両面へのア  
プローチが必要です。そして、重症度に応じたプログラムの立案が重要  
となってきます。

引用文献：安藤可織 肺高血圧症患者の心臓リハビリテーション、心臓リハビリテーション(JICR) 30(1)：128-131,2024年

### — 自覚症状チェックリスト —

- 階段を上ると息切れがする
- 疲れやすい
- 胸の苦しさを感ずる
- 立ち上がるとめまいがする
- 失神したり、失神しそうになった
- トイレの回数が減った
- 顔がむくむ
- 足がむくむ（すねを指で押して痕が残る）

→上記の症状がある方は一度ご相談ください